

二十歳のは 思い描く未来



3 出席者全員で記念撮影。やがてこれが思い出の一枚となる／4 誓いのことばを述べる戸村侑司さん／5 大楽村長から成人証書と記念品を受ける遠藤一樹さん(写真右)と前田早月さん(写真左)



48人が大人の仲間入り

第六十五回鮫川村成人式は一月十三日、村公民館で行われ、新成人四十八人(男性二十三人、女性二十五人)が大人の仲間入りをしました。

式では、新成人を代表して遠藤一樹さん(渡瀬字木之根)に成人証書、前田早月さん(赤坂東野字前田)に記念品が大楽村長から手渡されました。

大楽村長の式辞、前田村議会議長の祝辞に続き、戸村侑司さん(富田字鍛木田)が誓いのことばを述べ、自覚と責任ある社会人になることを誓いました。また、増谷文吾さん(赤坂西野字萩ノ沢)、田子拓人さん(赤坂西野字酒垂)、宗田亜美さん(赤坂中野字宿ノ入)の三人が感想文を発表。両親への感謝の気持ちや成人としての決意などを話しました。続いて、和太鼓ソロアーティストの大河内正紀さん(赤坂中野字宿ノ入在住)と奥州鮫川太鼓保存会の共演による祝いの太鼓が披露され、新成人を祝福しました。

式終了後には、出席者全員による記念撮影。会場には新成人の晴れやかな笑顔が溢れました。



1 成人を祝う太鼓が披露された／2 久しぶりに再会した友人と記念撮影



1月13日、村公民館には、色とりどりの振袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人の姿がありました。子どもから大人へ——。そんな節目の日を迎え、何を思いどのような未来を見つめているのでしょうか。今月号では、成人式の様子を紹介するとともに、新成人の心の内をのぞいてみました。



Miku Usui



薄井未来さん
赤坂中野字宿ノ入

Kazuki Endo



遠藤一樹さん
渡瀬字木之根

——それぞれの夢や目標に向かつて頑張ってください。本日はありがとうございました。

増子 すごく星がきれいだよね。
遠藤 自然がきれいなところはいいと思います。ただ、僕がまだ若いということもあります。遊ぶ所がないなと感じます。便利か不便かと聞かれたら、不便だと思います。
大竹 変わらない良さがあると思います。いつ帰ってきて、ほっとするんです。
増子 帰ってきたときに、地元の人と遊ぶと楽しいです。そんなとき、やっぱり地元の人温かくていいなと思います。
—— 将来、どのような村になってほしいですか。
遠藤 街路灯がほしいです。中学、高校のとき、陸上部に入っていたのでよく夜走っていました。暗くて大変でした。
大竹 緑をそのまま保ってほし

新成人の本音トーク—ハタチのリアル—

新成人に聞きたい。 自分自身、そして鯨川村のこれから

成人式終了後、新成人4人にご協力いただき、現在の心境を含めたさまざまな思いを語っていただきました。

いです。僕は、そんなに変わる必要もないと思います。
増子 実際に村に住んでいたときは、不便だと感じていました。が、村外に住むようになってから「今のままがいいな」と思うようになりました。
薄井 (少し考えて) ……すぐに要望などが思いつかないということとは、変わらなくてもいいのかなと思います。
それぞれの夢に向かって
——最後に、将来の夢や目標を教えてください。
増子 私はスポーツが好きなので、将来は柔道整復師としてスポーツに関わっていきたいです。そのために、勉強を頑張りたいと思います。あと、一人暮らしを

して、勉強が忙しくなるとバイトもできなくなってしまうので、金銭面もしっかり管理できるようにしたいです。
遠藤 趣味のダーツを友達としたいです。後々は、プロ試験に挑戦したいと思っています。会社の先輩から、「結婚したり子どもがきたりすると、自分の時間がなくなる」という話を聞きました。独身のうちに、いろいろなことに挑戦したいと思います。
薄井 三月に卒業するので、まずは、きちんと就職先を決めたいです。そして、患者さんに明るく接することができる医療事務を目指します。あとは、お金を貯めて家族を旅行に連れて行きたいです。みんなで出かけられる機会が少ないので。
大竹 広い視野で、世界に挑戦していきたいです。今年、アメリカで開催されるトリミング大会にも出場します。夢はグルマー(トリマー)の世界ランキングに入ることです。そのために、卒業後は世界的に有名なグルマーのもとで修業をしたいと思っています。
——それぞれの夢や目標に向かつて頑張ってください。本日はありがとうございました。

20歳は人生の転機

—— 本日はおめでとうございませす。まず、成人を迎えた感想を聞かせてください。
増子 まだ実感はないですが、これから何でも自分でやらなければいけないので、責任感を持って行動したいです。
薄井 まだ学生ということもあって、あまり変わらないです。就職したら少し変わるのかなと思います。
遠藤 仕事をしていると、自分の両親くらいの年齢の人とも接するので、そんなときは大人になったなと感じます。
大竹 二十歳という年齢は、人生の転機だと思うんです。これから大人としていろいろ責任も出てくるので、身が引き締まると思います。

結婚相手は外見じゃない

——二十歳の皆さんは、結婚についてどのように考えていますか。まず、いくつくらいに結婚したいですか。
薄井 三十歳までには結婚したいです。結婚がどういうものなのかイメージできないので、ま

Asami Mashiko



増子麻美さん
赤坂西野字前塩倉

Ryo Otake



大竹涼さん
青生野字江堀

だ結婚しないでいいかな。
増子 結婚するとしたら、自分の仕事がある程度落ち着いてからですね。両親のような夫婦が理想です。何年経ってもすごく仲良しで、何をしても二人一緒なんです。
遠藤 二十代後半くらいに結婚できればいいですね。
大竹 二十七歳くらいかな。専門学校を卒業して二十二歳。それから数年間修業をしたあと、業界トップの所に就職して、年収が安定してからですね。
大竹さん以外 そこまで人生設計立てているのがすごい。(笑い)
—— 皆さん二十代後半を考えているようですね。では、結婚相手に望むことは何ですか。
大竹 僕の夢を応援してくれる人。お互いの夢に向かって、励ま

し合える関係が理想です。
遠藤 趣味を共有できる人がいいですね。
薄井 私の事を大切に思ってくれていたらいいです。そうでないと、無理だと思います。
増子 自分の夢を持っている人がいいかな。相手の夢を応援したいし、私の夢も応援してほしいなと思います。
薄井 いいよね、夢持っている人。見た目じゃないよね。
地元の人の温かさ
——現在の鯨川村をどう思いますか。
薄井 仙台から帰ってくると、空ばかり見えてしまいます。鯨川村を離れて、空がすごくきれいなことに気付きました。

夢を追いかける二十歳

INTERVIEW

未来を担う20歳の素顔に迫ります。

相手の気持ち分かる 言語聴覚士になりたい

成 人式を迎え、晴れて大人の仲間入りをした芳賀英里さん。

「学生で実家に住んでいるということもあって、普段の生活の中では、あまり実感がありません。でも、選挙のときに入場券が届いたりすると、大人になったんだなと感じます」

「夢は言語聴覚士になること」と話す。白河旭高校を卒業後、郡山にある医療系専門学校に進学。言語聴覚士の資格を取るために、勉強に励んでいる。

「言語聴覚士」とは、言語障害や聴覚障害、ことばの発達遅れ、声や発音の障害などに対する訓練や援助を行う職業。



芳賀英里さん
はが・えり ■ 渡瀬字西野沢

「中学三年生のとき、読書が好きでいろいろな職業を紹介する本を読んでいたとき、この仕事があることを知りました。もともと医療に興味があり話すことも好きだったので、目指そうと思いました」

今年四月からは三年生となり、実習と国家試験に向けての勉強の両立で、さらに多忙になる英里さん。

「近い目標としては、やはり国家試験に合格することですね。そのために、勉強を頑張るしかないと思っています」と意気込みを語る。

卒業後は県内の病院に就職したいという希望があり、脳梗塞などの後遺症（失語症）や高齢



1年後に控えた国家試験に向けて、勉強に励む英里さん



真剣な表情で成人式に臨む康史さん

鈴木 木康史さんは修明高校を卒業後、三交代勤務の製造業の会社に就職。高校まで野球をやっていたこともあり体力に自信があったので、これを生かしたいと決めた。現在は、実家から西郷村の職場まで通勤している。

実際に、仕事を始めて学生と社会人の違いを感じたと言う康史さん。

周りから信頼され、 仕事を任せられる人に

「まず、責任の違いです。例えば、自分が何か悪いことをしたとすると、自分自身だけでなく会社のイメージや売り上げなどにも影響してしまいます。あとは、いろいろな年代の人の話が聞けることは、とても勉強になります」

社会人、二年目。

まだまだ学ぶことが多い、それに伴い目標もあるという康史さん。「周りの人から信頼され、仕事を任せられるような人になりたい」と力強く話してくれた。

「今は、先輩に頼っている部分が多いので、少しずつでも

自分一人のできるようになりたいです。特に機械トラブルなどの異常事態の対処が苦手なので、それを克服したいと思います」

また、成人という大きな節目を迎えた康史さんに将来の夢を聞いた。

「とにかく、今は仕事を頑張りたいというのが一番です。できれば会社の近くに住みたいという思いもありますが、鮫川村を離れることになっても村を盛り上げていけるように何らかの形で携わっていきたくと思っています」

「子どもが好き」と話す康史さん。「教えることはできないけど、村の子どもたちと一緒に野球ができたらいいな」と話してくれた。



鈴木康史さん
すずき・やすし ■ 赤坂西野字中